

ジブチ共和国大使による当協会来訪について

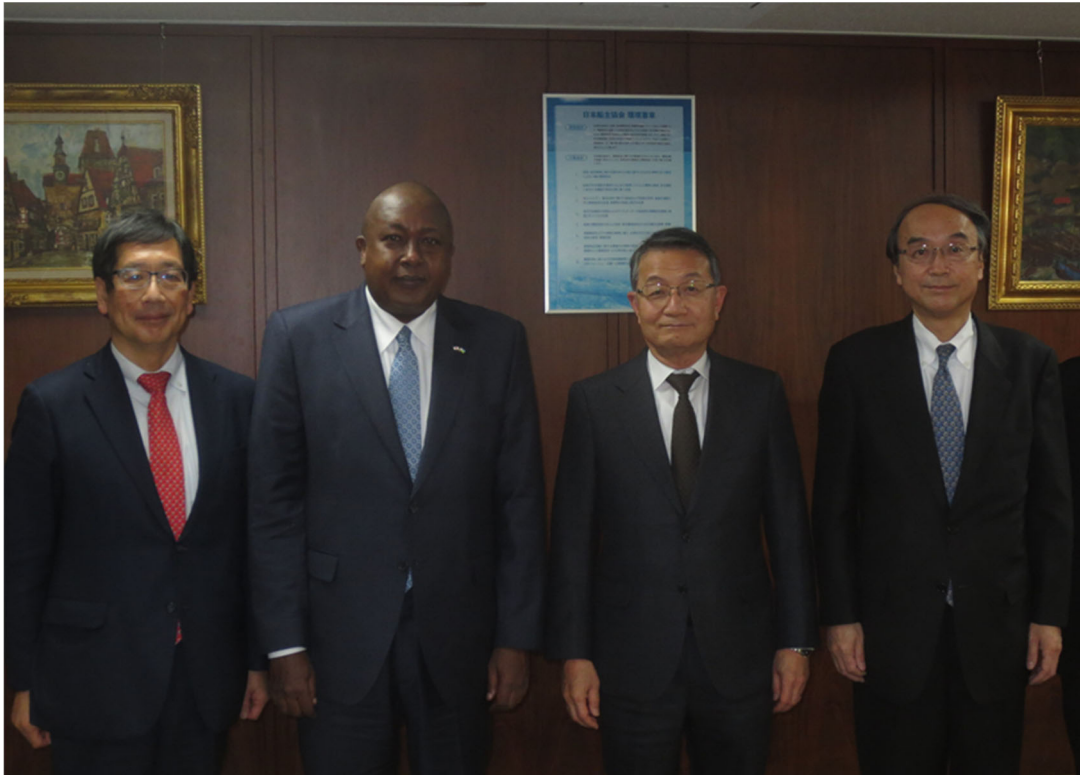
12月16日、イブラヒム・ビレ・ドゥアレ駐日ジブチ共和国特命全権大使が、着任の挨拶のため、当協会を表敬訪問いたしました。

協会側は、池田会長、友田副会長、森重理事長、大森常務理事にてお迎えいたしました。

大使は、本年10月に、8月に帰国されたアライタ・アリ大使の後任として着任されており、過去にも日本で同国大使館参事官として活躍されていきました。大使は挨拶の中で、ジブチには、海賊対処行動の一環として自衛隊の拠点があり、日本からもジブチの警備保安活動への支援を得ていることから、日本は重要な友好国の一つであることも紹介されました。

当協会は、海賊対処行動に対する感謝として、毎年ジブチ訪問を行っておりますが、コロナ禍により、2020年から訪問を中断しているため、池田会長から、「来年度は是非、訪問したい」旨伝えると、大使からは、「酷暑のみならず、気候が穏やかなシーズンもある。そういう機会を狙って是非、訪問してほしい」との言葉がありました。

最後に、会長より、今回の表敬に感謝するとともに、改めて海賊対処行動への理解と協力を求めたほか、ジブチのハブ港としての強化も期待することをお伝えしました。



左から 友田副会長、ドゥアレ大使、池田会長、森重理事長